

ひとの和の中 で子育てを 軸



子育て支援拠点「くまっぺ広場第2」の運営に携わる NPO 法人子育てネットワークまがやの（右から）黒澤総枝（くろさわとしえ）さん、小林和代（こばやしかずよ）さん、天田有紀（あまたゆき）さん



「くまっぺ広場第2」は、2014年7月に熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」内にオープンした。市内19か所ある子育て支援拠点のうちの一つで、楽しく遊べる明るく開放的な広場である。この場所ですぐの子どもたちとそのパパ・ママをいつも笑顔で迎えるスタッフ3人に、子育て支援拠点の役割や支援に対する思いなどを聞いた。

くまっぺ広場第2

住所：熊谷市原島315 熊谷市スポーツ・文化村
「くまびあ」親子ふれあいルーム内
開催時間：10時から15時まで
休日：火・日・祝日・くまびあ休館日
問い合わせ：080-3892-5453（子育てネットワークまがや）
※ 親子ふれあいルームはくまびあ休館日を除く
毎日2時30分から21時30分まで利用可



（※ 敬称は省略しています。）

「今日はとてもにぎわっていましたね。」

（小林） そうですね、今日は少ない方なんです。今日は、ほとんどが常連さんでした。

（天田） 普段は20組から30組くらい集まります。パパも一緒に来ることがありますので、全員で60人以上になることもあります。

「木曜日の人数が特に多いですね。」

（天田） 木曜日は、子育てネットワークまがやがイオン熊谷店で運営する子育て支援拠点の「0・1・2・3さいくまっぺ広場」がお休みで、そこを利用している方がこちらに遊びに来ます。また、幼稚園に通う兄弟（姉妹）がお休みのときは、一緒に来ることがありますので、それも重なると100名以上になることもあります。

そんな日はとてもにぎやかになりますね。

「施設について教えてください。」

（天田） 妊婦さんや幼稚園に通っていない未就学のお子さんとその保護者が利用できます。下の子が対象の場合は、上の兄弟（姉妹）を連れて遊びに来ることもできます。お子さんが楽しく遊ぶ場ではありませんが、ママたちが気兼ねなく来られる居場所の一つになればと思っています。

（小林） この広場は、ママ同士でも、一人でもすぐに新しい友人ができます。ママたちの交流を広げるきっかけの場所でもあると考えています。

（黒澤） 昔は親だけではなく、地域の色々な人がいる環境で子どもを育てるのが当たり前でしたが、今はそうではないので、ここはそれに代わる場所だと思います。また「くまびあ」は、自然も多く食堂もあって、広場で遊んで、ご飯を食べ、お散歩するにはぴったりの施設です。

「普段どのようなことを心がけていますか。」

（黒澤） ママの中には、お子さんと二人きりで利用する方もいるので、まずは声をかけるようにしています。また、お住まいの場所やお子さんの年齢を記載した名札を作っていますので、そこから交流が生まれるように、きっかけ作りとして「人と人とを繋ぐ」ことを心がけています。

（小林） 他愛のない会話で相談に乗りながら「寄り添うこと」を心がけています。

（天田） ママの気持ちを考えることを心がけています。お迎えする立場にありますので、居心地の良い場になるようにしたいと思っています。



—どのような雰囲気の場合にしたいですか。

(小林) 「来て良かった」と思ってもらえる場面にしたいです。帰り際に、「思い切って悩みを打ち明けて良かった」、「心がホッとした」と言ってもらえた時、とても嬉しく感じます。

(天田) 「また来たい」と思ってもらえる場にしたいです。

(黒澤) 長年保育士をしていた経験から一生懸命何かを教えたくなくなってしまっただけけど、ママたちの中に「人と話したい、寄り添って欲しい」と望んでいる人が多いと気づいてからは、同じ思いを持つスタッフと一緒にそういう場づくりをしてきました。人の中で人を育てられるような、みんなが笑顔でいられる場にしたいです。

—ママたちから、初めてでも、次に来るまでに期間が空いても、皆さん(黒澤さん、小林さん、天田さん)が優しく迎えたり、覚えていたりしてくれるから、何度も遊びに来ると伺いました。

(小林) そんな言葉をいただけるなんて・・・すごく嬉しいです・・・(涙)

—ママたちとどんな話をするのでか。

(黒澤) お子さんの成長についてが多いです。今は色々な情報が溢れていて、ほかの子と自分の子の成長の差が気になるようですよ。

(小林) 自分のお子さんが同じ月齢の子に比べると成長がゆっくりに見えたり、小さかったりして、それをほかのママから少しも言われると、心配になってしまっことがあるみたいです。

(黒澤) 子育ては、本や周りから言われること

だけが正解ではないから、「自分の子は自分の子、ほかの子と違って当たり前」という言葉で安心できると思います。

(小林) 「うちの子もそうだった」と、経験を話すことも大事だと思います。

(天田) 一歩踏み込んだ部分のお話ができるに関わり方も違うと思いますが、自分自身の経験も限られていますので、なるべく聞き役で自然に話せる雰囲気になっています。

(黒澤) 広場に来てもらえれば、お話だけではなく、ほかのお子さんを見て、自分の子どもの成長のイメージが持てたり、周りのママも成長を見てくれたりしますから、「みんなで子育て」ができる場なんです。

(小林) 「みんなで子育て」ですね。ほとんどのことが協力し合えますから。

—子育てに奮闘するママ・パパに向けて。

(小林) 19か所の子育て支援拠点は、みな同じ思いで待っていますので、思い切って一歩を踏み出して、近くの子育て支援拠点を足を運んでみてください。笑顔で迎えてくれますよ。

(天田) 子育て支援拠点連絡会「くまっしえ」の合言葉である「ここがあるよ、ここにいるよ」という言葉を多くの方に伝えたいです。

(黒澤) 子育て相談はもちろんですが、料理教室やパパ向けのセミナーなど子育ての色々な情報もご案内できます。子育てに関わる全ての人が笑顔でいられる場所を目指していますので、ぜひ、いらしてください。

